第１０回となるこの大会は、今年は愛知県や岐阜県からの参加者を含めて２００名を超える選手が集い、レベルの高い熱気にあふれる大会となった。

歴代のファイナリストを見ると、全国大会で活躍する選手も多くみられ、春のテニスシーズンを占う大会にもなっている。

今年も、ダンロップスポーツの右近憲三プロと西正人プロのレッスンが行われ、残念ながら敗退した選手たちが積極的に参加した。

北國新聞杯の盾

参加賞の振動止め

選手ミーティング。西出レフェリーからルールの説明を受ける。

右近プロレッスン。真剣に話を聞き、次の試合に備える。

栄えある上位入賞者と新聞記事。

12/22 北国新聞

U14で河内、U12で松本V

第10回小松ジュニアテニストーナメント最終日（21日・小松市のこまつドーム＝本社後援）14歳以下（U14）の女子と12歳以下（U12）の男子の試合が行われ、県勢はU14女子で河内志保（津幡ジュニア）、U12男子で、松本洵（ウエストヒルズJT）がそれぞれ優勝した。

▽U14女子 ①河内志保（津幡ジュニア）②吉田奈央（ウエストヒルズJT）③小杉そら（富山）橋本真歩（福井）▽U12男子 ①松本洵（ウエストヒルズJT）②佐々木康大（新潟）③半沢隼（長野）長谷川颯汰（福井）

県勢の上位入賞者

12/21 北国新聞

U12女子で村松V

第10回小松ジュニアテニストーナメント第1日（20日・小松市のこまつドーム＝本社後援）6県から北信越を中心に約190人が出場して、14歳以下男子と12歳以下女子のトーナメントに熱戦が展開され、県勢は12歳以下女子で村松果奈（SUMMIT）が優勝した。

▽U14男子 ①天崎荘汰（福井県）②細川圭太（津幡JT）③保志場圭佑（ウエストヒルズJT）加藤那琢（福井県）▽U12女子 ②吉井ひかり（富山県）③伊藤あおい（愛知県）渡邊菜央（新潟県）

両部門の上位入賞者